都市再生整備計画 フォローアップ報告書 北習志野駅周辺地区

〈第二期〉

平成29年12月

千葉県船橋市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

<u> </u>	都市再生整備計画	リー記載し	<u>」に日保で正</u>	里169 る疳核	が唯正											
	指標	,	· 従前値	目標値		事後評価					フォローアッフ゜(こ		フォローアップ。時	場合や改善	比較して大きな差異がある が見られない場合等	。 - 総合所見
	1日 1示	単位	TC HI IIE	ᄗᆥᇌᇉ	評価値	見込み・ の別		目標達成度	1年以内達成見過		よる確定値	日1 /火川・寸 米刀	点での達成度	理由	改善策の方向性	他日門死
指標1	2駅乗客数	人/日	43,620	45,000	46,601	確定		0	あり	-	46,387	H28年4月 ~ H29年3月	0		□ 改善策はてのまま □ 改善策に補強が必要	都市計画道路3・4・25号線の整備を したことにより、歩道が安全に通行で き、第一期に整備した施設との相乗
						見込み	•		なし	-					日初には音楽さんで	効果から駅の利用者数が増加した。
+E-1	- 12 = 14 /4 /4	14 7 /	40			確定			あり	-	,	H28年4月 ~			□ 改善策はそのまま	歩道を整備したことにより、対象区間
指標2	交通事故件数	件/年	13	8	8	見込み	•	. 0	なし	-	4	H29年3月	0		□ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	での交通事故が減少した。
115.1=-						確定			あり	-					□ 改善策はそのまま	
指標3						見込み			なし	-					□ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
比上来。						確定			あり	-					□ 改善策はそのまま	
指標4						見込み			なし	-					□ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
	(•	•		,	\				,	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

、 ※フォローアップの必要のある指標について記入 ※全ての指標について記入

様式4一② その他の数値指標の確定

	指標	,	従前値	目標値		事後評価			フォローアップ(こ	計測時期	フォローアップ・時	場合や改善	比較して大きな差異がある が見られない場合等	総合所見
	1日 1示	単位	化削胆	日 徐 但	評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	引测时期	点での達成度	理由	改善策の方向性	松台別兒
その他の数値指標1						確定見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4一③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

	-ト 添付様式5一③に記載した Dまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項		
	整備された公共施設の適正な維持管理	路盤からの打替えによる道路整備工事	耐久年数の向上	適切に維持・管理を行い、長寿命化を図る。		
・成果を持続させるために 行う方策	道路の交通安全対策	路盤からの打替えによる道路整備工事 耐久年数の向上 適切に維持・管理を行い、長寿命化を図る。	次年度以降、沿線路線の歩道整備工事をし、連続した歩行空間の確保を図る。			
改善策						
・まちづくりの目標を達成するための改善策・残された課題・新たな課題への対応策						
・その他 必要な改善策						

事後評価シート 添付様式5-3から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(第2回変更) 北智志野駅周辺地区

ちばけん ****ばしし 千葉県 船橋市

平成27年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県		市町村名	ふなばし 船橋市		地区名	etablo zēlpjonabs 北習志野駅周辺地区				面積	158 ha
計画期間		24	年度 ~	平成	27	年度	交付期間	平成	24 年度 ~	· 平成	27	年度

日標

交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出

目標1:歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

北習志野駅周辺地区は、本市の東部に位置し公団開発による集合住宅を中心に自然発生的な住宅地により形成され、駅周辺には商店街が形成されている。

また、北習志野駅には新京成線・東葉高速鉄道の鉄道2線が乗り入れており、1日の平均乗降客数は約79,000人のターミナル駅となっており、高根木戸駅・高根公団駅・船橋日大前駅の1日の平均乗降客数は、それぞれ、約8,0 00人、約14,000人、約14,000人であり都心への通勤圏として利便性の高い住宅地となっている。

当該周辺地区における主要な都市施設としては、北習志野駅東側に北習志野近隣公園、船橋アリーナ(総合体育館)、習志野台公民館、社会福祉会館等の公共公益施設が点在しており、日本大学や付属中・高校などの教育施設 が立地し地域の持つ土地利用の特徴の一つとなっている。

また、駅へのアクセスや地区内外の交通の円滑な処理を図るため、3・4・25号線といった都市計画道路や北習志野駅駅前広場(面積約0.76ha)等が都市計画決定されており、船橋日大前駅周辺においては、都市再生機構による 土地区画整理事業が行われ、新たな住宅地が形成されつつある。

なお、北習志野駅周辺においては、市民と協働によるまち歩き等を実施しており、市民意向を反映した交通安全対策や道路等のバリアフリー化を推進する事業計画が策定されている。

この地区は、平成19年度から平成23年度まで、都市再生整備計画に基づき、まちづくりの目標を達成するよう事業が行われて来た地区であるが、事後評価の結果を受け、引き続き当該2期計画を実施する。

課題

北習志野駅周辺地区は、都心への通勤圏に位置し良好な住宅地が形成され、各駅周辺には、商店街等の生活利便施設が形成され周辺居住者等に日々利用されているが、これらの施設を利用する駅利用者や商店街利用者等が 安全かつ快適に利用できる施設の整備が課題となっている。

そこで、都市計画道路の整備等の各種事業を一体的に推進することにより、交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ●平成12年3月、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」をまちづくりの目標とした『船橋市総合計画』を策定し、当該地区は「北習志野駅周辺は、東葉高速鉄道と新京成線との乗り換えによって都心への直接乗り入れが可能とい う利便性を活かし、市民の豊かな生活を支えるにぎわいと交流のある地域商業拠点として整備を推進する。」こととしている。
- ●平成13年2月、『船橋市都市計画マスタープラン』を策定し、当該地区は「バスや鉄道の乗り継ぎが便利な交通ターミナル機能をもち、楽しくショッピングができ、地域の人々が集う、にぎわいと交流のあるまちを目指す。」こととしてい ス
 - 。 ◎歩行者と自転車利用のためのみちづくり・・・都市計画道路・歩道の整備

|目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
2駅乗客数		2駅(北習志野駅・高根木戸駅)の乗客数 【指標:2駅の合計値】	歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備 や第1期計画により整備された施設等との相乗効果で、乗客数を 増加させ交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地を創出す る。	43,620	平成22年度	45,000	平成28年度
交通事故件数	件/年	3·4·25号線(その1~3)·3·4·20号線における交通事故件数 【指標:4路線の合計値】	幹線道路における歩道を整備することにより、事故件数を減少させる。	13	平成22年度	8	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等	
計画区域の整備方針 ・整備方針1 ・駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高める。	方針に合致する主要な事業 ・《基幹事業 道路》 市道00-020号線道路整備事業 ・《基幹事業 街路》 3・4・25号線道路整備事業(その1) ・《基幹事業 街路》 3・4・25号線道路整備事業(その2) ・《基幹事業 街路》 3・4・25号線道路整備事業(その3) ・《基幹事業 街路》 3・4・20号線道路整備事業
その他	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	1,337 交付		53	35	国	費率	0).4					
-1- 314	•		•		•		•		•			(金額の)	単位は百万円
事業		I	Τ	1	(参考)	事業期間	交付期間	内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	<u>デスカルカー</u> 終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費
道路(道路)	市道00-020号線	船橋市	直	60m	H19	H26	H26	H26	389	() ()	
道路(街路)	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その	船橋市	直	902m	H19	H28	H24	H27	2,981	620	620		6
道路(街路)	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その2	船橋市	直	300m	H25	H31	H25	H27	1,105	173	173	3	1
直路(街路)	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その3	船橋市	直	243m	H25	H29	H25	H27	628	338	338	3	3
直路(街路)	3・4・20号線(印内習志野台線)	船橋市	直	446m	H24	H30	H24	H27	1,580	206	3 206	6	2
公園													
ち都及び緑地保全事業													
可川													
下水道 「水道											1		
主車場有効利用システム											<u> </u>		
也域生活基盤施設													
高質空間形成施設							1				+		
高次都市施設											+		
可以即位施設 中心拠点誘導施設							1				+		
中心灰点的等地放 生活拠点誘導施設							1				+		
	±≡n\					1					+		
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施	型 高文 /												
土地区画整理事業					-		<u> </u>				 		
市街地再開発事業													
主宅街区整備事業													
也区再開発事業													
バリアフリー環境整備事業													
憂良建築物等整備事業													
拠点開発型													
主宅市街地 沿道等整備型 窓集住富吉街地敷供到													
事業 密集住宅市街地整備型													
耐震改修促進型													
封なみ環境整備事業													
主宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業							1						
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備											+		
防災街区整備事業													
h 가지의 프로메루지 가지의 프로메루지			 		 	 	 		6,683	1,337	1,337	0	1,337
1日 事業(継続地区の場合のみ記載)									0,000	1,007	1,007	U	1,007
			T	Ī	(参考)	事業期間		内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	えた 守色田公	うち民負担分	事業費
小叫头口						(水) 千 <u>/文</u>	別和千及	- 「「「一下」 - 「一下」 - 「一下」	尹未其	尹未其	プラ日共担力	プラ氏貝担刀	尹禾貝
也域創造					1		+				+		
支援事業				1			+				+		
· ★ 工 □ = □							-				+		
事業活用調				-	1	1	1	1			+		
		1		1	1	1	1	1			+		
まちづくり活					-		<u> </u>				 		
動推進事業						 	 						
h									0	C	<u>) 0</u>	0	
												合計(A+B)	1,
·)関連事業		1	Т	1	1	/ı , _L S I.	· +/1-0\			V 0 88		4	
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	 直轄	(いすれ 補助	いた○)	民間	事業 開始年度	<u>期間</u> 終了年度	全体事業費		
	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その	船橋市	国土交通省	902m	<u> </u>	<u>網別</u>	」 地刀甲徴 ┃		<u> </u>	<u>終了年度</u> H28	2,981	1	
ョ岭(街路) 道路(街路)		+					-					-	
	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その2		国土交通省	300m	1	0	1	1	H25	H31	1,105	-	
道路(街路) ****(#********************************	3・4・25号線(宮本古和釜町線)その3	736 117 1	国土交通省	+	1	0	1	-	H25	H29	628	-	
道路(街路) 合計	3·4·20号線(印内習志野台線)	船橋市	国土交通省	446m	 	0	 	 	H24	H30	1,580	4	
†			1								6,294	I	

都市再生整備計画の区域

